

講演会

「新素材のなせる技！」 ～環境を支える繊維技術～

近年、地球環境の変化が懸念されており、環境を支える技術開発に注目が寄せられています。特に繊維技術は、地球環境に優しく、地球環境を守る技術として、また、快適な生活空間を創造する技術として発展し続けています。

本講演では、まず身近な環境の快適化に目を向け、自動車業界における二酸化炭素低減に向けた取り組みや騒音低減に貢献する技術について紹介していただきます。更に地球環境においては、震災復興のための技術や環境負荷を低減できる技術について紹介していただきます。いずれも非常に興味深い講演になるかと思えます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

【日時】平成27年7月10日（金）13.00～16.50

【会場】大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町1-8-4）

【内容】

(1) 綿(コットン)を複合した射出成形材料「BIOPELLET®/バイオペレット」(13.00～13.50)

倉敷紡績(株) 技術研究所 副所長 宮外清貴

近年、自動車業界をはじめ環境負荷低減のため天然素材を活用した新素材が多く提案されています。トヨタ車体と共同で開発した、コットンを補強繊維に用いた射出成形用の複合材料「BIOPELLET®」を紹介します。本製品はコットンの有用性を活かし繊維長を保持しつつ高繊維含有率を達成することで優れた力学特性を実現しています。

(2) ナノファイバー吸音材料の次世代自動車への展開 (14.00～14.50)

東京工業大学大学院 理工学研究科 物質科学専攻 助教 赤坂修一

近年、普及が進んでいるハイブリッド車、電気自動車などの次世代自動車は、これまでのエンジン車に比べ、低騒音化しているものの、新たな問題も発生しています。ナノファイバー吸音材料は、一般の吸音材料に比べ、薄く、軽くても低い周波数域の吸音を示す材料として注目されています。自動車騒音の変化とナノファイバー吸音材料の展望について報告します。

(3) セシウム吸着機能材料 (15.00～15.50)

明星大学 理工学部 総合理工学科 環境・生態学系 教授 宮脇健太郎

現在、長期的な放射性物質汚染に対する技術として、吸着除去の効率化が検討されています。近年、高性能吸着材料の開発とともに、実用に耐えられる複合材料の検討が行われています。放射性物質汚染の問題点から、各種セシウム吸着材料（主に繊維複合材料）の性状と吸着試験（実験室試験や実証試験）の概要などを紹介します。

(4) 放射線を活用した機能性繊維材料の開発 (16.00～16.50)

(独) 日本原子力研究開発機構 環境機能高分子材料研究グループ 瀬古典明

繊維を効率良く機能化するための道具として放射線を活用し、水中に溶存している金属類を効率良く捕集可能な吸着材料や廃油を、バイオディーゼル燃料に転換可能な触媒材料を開発した研究について紹介します。また、この繊維材料の特徴をいかして商品化したセシウム除去用給水器についても紹介します。

【協 賛】 大阪染色協会

【定 員】 40 名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

【参加費】 会員 10,000 円，非会員 18,000 円，学生会員 1,000 円，学生非会員 2,000 円（税別）

【申 込】 「講演会 - 新素材のなせる技」と明記し，①氏名，②所属，③連絡先（所在地，電話番号，FAX 番号，E-mail アドレス），④会員種別を記入の上，FAX または E-mail にてお申し込み下さい。

【申込先】 日本繊維機械学会

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

日本繊維機械学会 行

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4

E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

平成 27 年 7 月 10 日（金）開催

講演会「新素材のなせる技」参加申込書

フリガナ

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____ FAX : _____

E-mail: _____

会員種別 : _____

連絡事項

今後，本学会からの開催行事案内メール配信を

希望する ・ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____